

IBM DB2 QMF Vision
バージョン 12 リリース 1

IBM DB2 QMF Vision 入門

IBM

IBM DB2 QMF Vision
バージョン 12 リリース 1

IBM DB2 QMF Vision 入門

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、巻末にある『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM DB2 12 for z/OS (5650-DB2) および IBM DB2 11 for z/OS (5615-DB2) のフィーチャーである IBM DB2 照会報告書作成プログラム (QMF) Enterprise Edition バージョン 12 リリース 1 に適用されます。また、本書は、スタンドアロン IBM DB2 for z/OS ツールである IBM DB2 QMF for z/OS (5697-QM2) バージョン 12 リリース 1 にも適用されます。この情報は、新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： GC27-8889-00
IBM DB2 QMF Vision
Version 12 Release 1
Getting Started with IBM DB2 QMF Vision

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Rocket Software Inc. 2016

目次

第 1 章 QMF Vision について	1
第 2 章 QMF Vision コンポーネントのインストール	3
QMF Vision システム要件	3
QMF Vision のインストール	3
IBM Data Service ODBC ドライバーのインストール	4
QMF Vision の登録	5
第 3 章 QMF Vision へのアクセス許可の設定	7
パスワードの更新	7
グループ許可の設定	7
会社設定の構成	8
表示設定の構成	8
第 4 章 ユーザーの管理	11
ユーザーの登録	11
ユーザーを LDAP で登録	11
新規ユーザーの承認	12
第 5 章 QMF Vision の「ホーム」ページについて	13
第 6 章 QMF Vision の用語について	15
第 7 章 データへの接続	17
データの操作	17
データベース照会の実行	18
階層の作成	19
第 8 章 ダッシュボードの作成	21
ダッシュボードを「ホーム」ページで作成	21
ダッシュボードをデータ・ページで作成	21
第 9 章 プレゼンテーションの作成	23
第 10 章 データ・パックの作成	25
第 11 章 ビジュアルについて	27
第 12 章 データ検出の概要	31
ダッシュボードの編集	32
ビジュアルのヘッダーを作成	36
データ変換	37
ビジュアルの形式設定	37
「ホーム」ページでのダッシュボードの表示	39
ダッシュボードのタグ付け	39
フィルター・コンテナの適用	40
ビジュアルの関連付け	40
ダッシュボード設定	40

第 13 章 共有とコラボレーション	43
付録. QMF Vision クイック・リファレンス	45
カテゴリをデータに追加	45
表の概要	46
計算関数について	47
マップの操作	49
特記事項	51
商標	52
製品資料に関するご使用条件	53
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項	53
索引	55

第 1 章 QMF Vision について

IBM® DB2® QMF™ Vision には、会社が直感的な方法でデータを分析できるセルフサービス・ダッシュボードが備わっています。この機能により、ユーザーはさまざまなビジネス・ニーズに従って分析を動的に調整することができます。QMF Vision は、クラウドおよびサイトへのデプロイが容易で、必要な保守を最小限に抑えることができるため、オーバーヘッド・コストが減ります。

QMF Vision は、組織のビジネス・インテリジェンス (BI) を簡素化し、効率を上げます。また、分析を複数ユーザー間で簡単に共有できるようにすることで、ユーザーはコラボレーション機能を使用して迅速に決定を下すことができます。

- 接続: ユーザーは指定した方法で情報を表示できるため、十分な情報を得た上で決定し、適切な措置を行うことができます。QMF Vision は対話式のビジュアルを提供します。ユーザーは、ドラッグ・アンド・ドロップ機能を利用して IT サポートなしで報告書およびダッシュボードを作成できます。
- 検出: QMF Vision には、ダッシュボード、ファイル、データなどの統合 BI 機能の包括的なポートフォリオが用意されています。QMF Vision が、生産性を高めるタイムリーなビジネス情報を提供することによって、組織全体にわたる意思決定が向上します。これは拡張が容易で信頼性の高いソリューションです。
- 共有: ユーザーは全社的に再利用する目的でダッシュボードを共有できます。リアルタイムのメッセージング・サービスにより、ユーザーは互いにつながるすることができます。このソリューションはさまざまなモバイル・デバイスでサポートされているため、ユーザーはダッシュボードと報告書に簡単にアクセスすることができます。

第 2 章 QMF Vision コンポーネントのインストール

以下のトピックでは、QMF Vision および IBM Data Service ODBC ドライバーのインストール手順について説明します。

QMF Vision システム要件

インストールを開始する前に、システムが構成されていることを確認します。

Microsoft Windows Server 要件

QMF Vision は、以下の Windows バージョンをサポートしています。

- Windows 7 (64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 サービス・パック 1
- .NET Framework 3.5 対応 Windows Server 2012

ハードウェア要件

高性能システム:

- 4 コア・マイクロプロセッサ
- 8 GB RAM
- 250 GB フリー・ディスク・スペース

ブラウザー要件

以下のブラウザーで QMF Vision にアクセスできます。

- Chrome バージョン 50.0.2661.102
- Firefox バージョン 47.0.1
- Safari バージョン 7 以降
- Microsoft Edge バージョン 25.10586.0.0

QMF Vision のインストール

このトピックでは、QMF Vision を Windows オペレーティング・システムにインストールする方法について説明します。

このタスクについて

QMF Vision をインストールするには、以下のようになります。

手順

1. QMF Vision インストール・ディレクトリーに移動します。
2. 「QMF Vision」フォルダーを開きます。
3. setup.exe ファイルを実行し、QMF Vision のインストール・ウィザードを起動します。
4. 「次へ」をクリックします。

5. 「**MongoDB bin ディレクトリー (MongoDB bin Directory)**」フィールドで既存の MongoDB bin ディレクトリーのパスを指定して、「次へ」をクリックします。

注: Windows MongoDB がシステムにインストールされていない場合は、QMF Vision インストーラー・ウィンドウに表示されているリンクをクリックし、Windows MongoDB インストーラー・セットアップ・ファイルをダウンロードしてください。MongoDB インストールが完了した後、QMF Vision インストールを続行してください。

6. QMF Vision をインストールするディレクトリーを選択して、「次へ」をクリックします。
7. QMF Vision アプリケーション・データを保管するディレクトリーを選択して、「インストール」をクリックします。
8. 「終了」をクリックして、インストール・プロセスを完了します。

IBM Data Service ODBC ドライバーのインストール

QMF Vision から QMF Data Service に接続するには、IBM Data Service ODBC ドライバーをインストールする必要があります。

このタスクについて

以下の手順に従ってください。

手順

1. QMF Vision インストール・ディレクトリーに移動します。
2. 「QMF Vision」フォルダーを開きます。
3. DS_ODBC_3_1_win64.exe ファイルを実行し、IBM Data Service ODBC ドライバーのインストール・ウィザードを起動します。
4. インストール・ウィザードの言語を選択して、「OK」をクリックします。
5. 「次へ」をクリックします。
6. 「ご使用条件 (License Agreement)」パネルで、ライセンス条項を読んでから「同意する」を選択し、インストールを続行します。
7. インストール・セットのいずれかを選択して、「次へ」をクリックします。最も適したインストール・セットを選択するには、下の表にある情報を参照してください。

インストール・セット	インストールされるコンポーネント
デフォルト	ODBC ドライバーおよびサンプル。
最小	ODBC ドライバーのみ、ローカル・コンピューターにインストールされます。
カスタム	インストールされるフィーチャーをカスタマイズできます。

インストール・セット	インストールされるコンポーネント
ネットワーク管理 (Network Admins)	ローカル・マシンへのドライバー定義のインストールのみ行われます。物理ドライバーがローカル側にインストールされることはありません。ネットワーク・インストール・オプションを使用して、既にドライバーが別のネットワーク・マシンにインストールされている必要があります。

8. 宛先フォルダーを指定します。「次へ」をクリックします。
9. ドライバーを 1 つのマシンにインストールするか、またはネットワーク・ロケーションにインストールするかを指定します。「次へ」をクリックします。
10. ドライバーが必要とする環境変数が、すべてのユーザーに有効であるか、またはインストールを実行するユーザーにのみ有効であるかを指定します。「インストール」をクリックします。
11. 「閉じる」をクリックして、インストール・プロセスを完了します。

QMF Vision の登録

QMF Vision がインストールされた後、ブラウザで自動的に登録ページが開きます。

このタスクについて

アカウントを作成するには、以下のようにします。

手順

1. 「アカウントの作成」ウィンドウで、すべてのフィールドを埋めます。
2. 「登録」をクリックします。アカウントが作成され、登録されます。

第 3 章 QMF Vision へのアクセス許可の設定

QMF Vision で登録する最初のユーザーは、デフォルトで管理者になります。他のユーザーは登録要求を送信できます。管理者はこれらの要求を承認または拒否します。管理者は管理者設定および会社設定を構成できます。

ユーザーはグループを作成し、他のユーザーをグループに追加できます。これらのユーザーにはそれぞれ、グループを表示または編集する許可を与えることができます。

パスワードの更新

管理者またはユーザーは、QMF Vision へのログイン後にパスワードを変更できます。

このタスクについて

パスワードを更新するには、以下のようにします。

手順

1. QMF Vision にログインします。
2. プロファイル・アバターをクリックし、「プロファイル」を選択します。
3. 「アカウント」タブを選択し、「パスワードのリセット」リンクをクリックします。
4. 新規パスワードを入力して確認します。
5. 「更新」をクリックします。

グループ許可の設定

ユーザーはグループを作成し、グループを表示する許可、またはグループに対してユーザーを追加および削除する許可を他のユーザーに割り当てることができます。

このタスクについて

ユーザーを追加し、許可をグループに割り当てるには、以下のようにします。

手順

1. QMF Vision にログインし、次にアバターをクリックします。
2. 「プロファイル」を選択し、「グループ」をクリックします。
3. 「作成」をクリックして新規グループを作成します。
4. 以下の情報を入力します。

フィールド	アクション
名前	グループの名前を入力します。

フィールド	アクション
説明	このグループの分かりやすい説明を入力します。例えば、「ダッシュボードを表示できるユーザー」のような説明を入力します。

5. **+** をクリックします。 QMF Vision に登録されているすべてのユーザーのリストが表示されます。
6. 許可を割り当てるユーザーを選択します。編集許可を持つユーザーは、グループに他のユーザーを追加することができます。
7. リストから、適切な許可を選択します。
8. 「追加」をクリックします。 検索ボックスを非表示にするには、「非表示」ボタンをクリックします。

次のタスク

グループからユーザーを削除するには、**−** をクリックし、次に削除したいユーザー名の横にある **−** をクリックします。

関連資料:

43 ページの『第 13 章 共有とコラボレーション』

QMF Vision には共有およびチャット機能が用意されています。他のユーザーと会話し、ダッシュボード、ソース、および照会を共有することができます。

会社設定の構成

管理者は、「ホーム」ページを構成できます。このページは、ユーザーが QMF Vision にログインしたときに、最初に表示されるページです。

このタスクについて

会社設定を構成するには、以下のようにします。

手順

1. QMF Vision にログインします。
2. アバターをクリックして、「設定」を選択します。
3. 「会社プロフィール」タブをクリックします。
4. 会社の名前を「会社名」フィールドに入力します。

表示設定の構成

会社のデフォルト・カレンダーを設定し、またダッシュボードのヘッダーとフッターを設定することができます。

このタスクについて

表示設定を構成するには、以下のようにします。

手順

1. QMF Vision にログインします。
2. アバターをクリックして選択し、「設定」を選択します。
3. 「表示設定」をクリックします。
 - アカウント・オプションをログイン画面に表示するには、「ログイン画面に「アカウントの作成」オプションを表示」チェック・ボックスを選択してください。
 - 望ましい言語を「言語」リストから選択します。
 - 事前定義の会計カレンダーを「会社カレンダー」リストから選択します。また、カスタム範囲、開始週、日付、および日付形式をカスタム・カレンダーに定義することもできます。
 - ダッシュボードのヘッダー情報を作成します。

第 4 章 ユーザーの管理

QMF Vision によって、管理者はライセンスを作成し、適用し、また取り消すことができます。管理者は、ライセンスの総数とライセンスの状況を表示できます。あるユーザーが有効ではなくなった場合、管理者は、そのユーザーをシステムから削除することができます。管理者は、新しいライセンスおよびユーザーを登録することもできます。

ユーザーの登録

管理者は、新規ユーザーの登録、ライセンスの割り振り、またはライセンスの取り消しを行うことができます。ユーザーを登録するには 2 つの方法があります。管理者は、ユーザーを 1 人ずつ登録するか、.CSV ファイルを作成して一度に複数のユーザーを登録できます。

このタスクについて

登録要求を新規ユーザーに送信するには、以下のようにします。

手順

1. QMF Vision にログインします。
2. アバターをクリックし、「設定」を選択します。
3. 「ユーザー管理」タブをクリックして、登録するユーザーの E メール・アドレスを入力します。
4. リストからライセンスを選択します。
5. 「登録」をクリックします。あるいは、ユーザーの詳細が含まれるファイルをアップロードすることにより、複数のユーザーに招待状を送信することもできます。その .CSV ファイルの最初の列には E メール・アドレス、2 番目の列にはパスワードが含まれていなければなりません。

ユーザーを **LDAP** で登録

管理者は、LDAP ディレクトリーを使用してユーザーおよびユーザーのグループを登録することができます。

手順

1. QMF Vision にログインします。
2. アバターをクリックし、「設定」を選択します。
3. 「ユーザー管理」タブをクリックして、「ユーザーを招待 (**Invite User**)」パネルを展開します。
4. 「LDAP」タブをクリックします。
5. 「SSL を有効にする」オプションをクリックして、LDAP ディレクトリーへのセキュア接続を行います。

次の情報を入力してください。

オプション	説明
LDAP ホスト名	接続する LDAP ディレクトリーのホスト名を入力します。例: <code>ibm.com</code>
ポート	ポート番号 389 を入力します。
基本 DN	LDAP ディレクトリー・サーバーに対する照会に使用される基本識別名です。例: <code>c=ibm.com</code>
LDAP パスワード	LDAP 接続のパスワードを入力します。
LDAP ユーザー名	LDAP ディレクトリーへの接続に使用されるユーザー名です。例: <code>user@ibm.com</code>

- 複数のユーザーをロードするには、「ユーザーのロード」をクリックしてから、「ユーザーのインポート」をクリックします。
- ユーザー・グループをロードするには、「ユーザーのロード」をクリックしてから、「グループのインポート」をクリックします。

新規ユーザーの承認

管理者は、承認を待っている登録ユーザーのリストを表示し、それらのユーザーにライセンスを割り当てることができます。

このタスクについて

承認を待っているユーザーを表示し、それらのユーザーにライセンスを割り当てするには、以下のようにします。

手順

- QMF Vision にログインします。
- アバターをクリックし、「設定」を選択します。
- 「ユーザー管理」タブをクリックします。すべてのユーザーのリストが表示されます。
- 「保留中のユーザー」パネルを展開して、登録の承認を待っているユーザーを表示します。
- 「承認」をクリックしてください。

第 5 章 QMF Vision の「ホーム」ページについて

「ホーム」ページは、ログイン後に最初に表示されるページです。作成したダッシュボード、および他のユーザーと共有しているダッシュボードをすべて表示できます。

以下のセクションで、「ホーム」ページのレイアウトについて説明します。

オプション	説明
検出	「検出」ページでは、ビジュアルの操作およびビジュアルの形式設定を行うことができます。新しいデータ・ソースおよび照会に関連付けることができます。
データ	「データ」ページでは、照会およびダッシュボードを表示、変更、検索、および削除することができます。
共有	「共有」ページでは、ダッシュボードの共有、ビューの設定、および許可の編集を行うことができます。データ・ソースおよびダッシュボードのコピーを作成することもできます。
検索	特定のダッシュボードを検索できます。
検索バー	キーワード、用語、名前などのグローバル検索を実行できます。
削除済み項目	削除された項目をすべて表示します。削除された項目は、復元するか、完全に削除することができます。
+ダッシュボード	ワンクリックでダッシュボードを作成する方法です。
+プレゼンテーション	このモードにより、すべてのダッシュボードのプレゼンテーションを作成することができます。
編集	このオプションを使用して、ダッシュボードを選択および削除します。
ツールボックス	ビジュアルへの設定の適用、チャットによる他のユーザーとのコラボレーション、ダッシュボード・テンプレートの選択などを行います。
マイ・ダッシュボード	自分が作成したダッシュボードをすべて表示します。
すべて	このオプションは、ユーザーが作成したダッシュボードと、ログインしている他のユーザーと共有しているダッシュボードをすべて表示します。

オプション	説明
お気に入り	このオプションは、お気に入りのマークが付けられたダッシュボードを表示します。リストは日時順に並べられています。
共有	このオプションは、ログインしているユーザーと共有しているダッシュボードを表示します。
グリッド表示の共有ビュー	ダッシュボードをグリッド形式で配置します。
リスト表示の共有ビュー	ダッシュボードをリストの形式で配置します。

第 6 章 QMF Vision の用語について

このトピックは、QMF Vision で使用される用語を十分に理解するために役立ちます。

用語	説明
ビジュアル	QMF Vision には、多数のビジュアルが用意されています。これは、分析用のさまざまな財務データ、マーケティング・データ、および販売データを直感的でグラフィカルな方法で表示するインターフェースです。QMF Vision には、積み上げ棒グラフ、ヒート・マップ、表などのビジュアルが備わっています。これらのビジュアルは、色、軸の方向、レイアウトなどを変更することによってカスタマイズできます。表がデフォルトのビジュアルです。
ダッシュボード	ダッシュボードはビジュアルの論理集合で、分析の全体像を描く際に役立ちます。
測定値とコンテキスト	ソースから抽出されるデータは、測定値とコンテキストに分類されます。測定値は、収益、販売、ページ・ビューなどの測定可能なデータから成ります。コンテキストは、コンテキストを提供する測定不可のデータです。例えば、カテゴリー、国、地域などがあります。
合計	この関数は、すべての測定値を加算します。例えば、この関数が数量の測定値に適用されると、各種製品の合計数量が表示されます。
平均	この関数は、すべての測定値の平均を表示します。例えば、この関数がコスト測定値に適用されると、製品の平均コストが表示されます。
最小	この関数は、すべての測定値の最小値を表示します。
最大	この関数は、すべての測定値の最大値を表示します。
カウント	この関数は、測定値の出現回数を表示します。例えば、国ごとのトランザクション数を知りたい場合に使用します。
階層	コンテキストから階層を生成できます。ソリューションを使用して自動階層を生成することも、独自の階層を作成することもできます。これらの階層は、報告書でドリルダウンを作成する際に役立ちます。

第 7 章 データへの接続

サーバーのデータ・ソースに接続できます。

使用可能なデータ・ソース

データには、「データ」ページから、またはツールボックスを使用して接続できます。データには、データベースから直接アクセスすることもできます。QMF Vision は、以下のデータ・ソースをサポートしています。

- QMF for WebSphere®.

QMF Vision Objects フォルダーにある表および照会を使用できます。詳しくは、「*QMF for Workstation and DB2 QMF for WebSphere 入門*」ガイドで、オブジェクトの QMF Vision への公開に関するトピックを参照してください。

- QMF Data Service.

QMF Data Service が提供する表を使用できます。

データ・ソースに接続するには、サーバーをクリックして以下の例に示すとおり情報を入力します。

The screenshot shows a web interface for connecting to QMF Data Service. On the left, there is a sidebar with the text "On a server" and two menu items: "QMF for WebSphere" and "QMF Data Service", with the latter being selected. The main area is titled "Connect to QMF Data Service" and contains a "Connect" button in the top right corner. Below the title, there are four input fields: "Host:" with the value "your.server.com", "Port:" with the value "1200", "Username:", and "Password:".

データの操作

データベース接続を介してアクセスするデータは、変更されずに表示されます。データを統合する場合は、QMF Vision によって提供される操作を適用する必要があります。

公式

測定値に加算、減算、乗算、除算関数を適用して、数学関数を実行できます。関数を括弧で囲むことにより、複雑な関数を計算することもできます。

数学式を適用するには、以下のようになります。

1. 照会領域で、「公式の作成」をクリックします。新しい公式列が、使用可能なすべての列のリストに追加されます。



ID	Unit Sale Price	Total Cost	Profit Margin	formula
5	19.215	1481.25	824.55	⊗
290	361.28	1900	990.24	⊗
296	438.6	1500	5517.6	⊗
485	13.7325	85	-16.3375	⊗
512	145.605	41.25	1997.22	⊗
518	1.305	1323.75	-658.2	⊗
615	9	2660	4000	⊗
610	3.6925	128.75	-102.9025	⊗
646	24.5475	2497.5	-926.46	⊗
680	54.825	87.5	131.8	⊗

2. 公式列を選択し、「ツールボックス」でその公式に関連する名前を付けます。例えば、「Profit」です。
3. 公式列を選択し、公式に含める測定を f ■ フィールドに入力します。
4. 数学演算子を入力し、その後に列名を指定します。以下に例を示します。



5. をクリックします。

結果が「Profit」列に表示されます。

データに関数を適用して、さまざまな計算を実行できます。これらの関数について詳しくは、47 ページの『計算関数について』を参照してください。

列

以下の追加機能をデータに対して実行できます。

- 「自動階層」をクリックして、データを編成するための自動階層を生成します。
- 「自動列ソート」をクリックして、列をソートします。列はアルファベット順にソートされ、コンテキストと測定値、その後に公式が表示されます。

データベース照会の実行

QMF Vision には、データベース照会を実行するために 2 つの方法が用意されています。ソースのデータの先頭 1000 行を対象に実行するか、または表全体を対象に実行するかを選択できます。前者の方が実行時間は短くなります。

このタスクについて

照会内のすべての値を実行するには、以下のようになります。

手順

1. データベースに関連付けられた表から照会を作成します。
2. 照会を実行するためのオプションを選択します。
 - 表のすべての行と列を選択するには、「ロード」をクリックします。



LOAD TOP 1,000 Last run: 10/2/2016 15:25

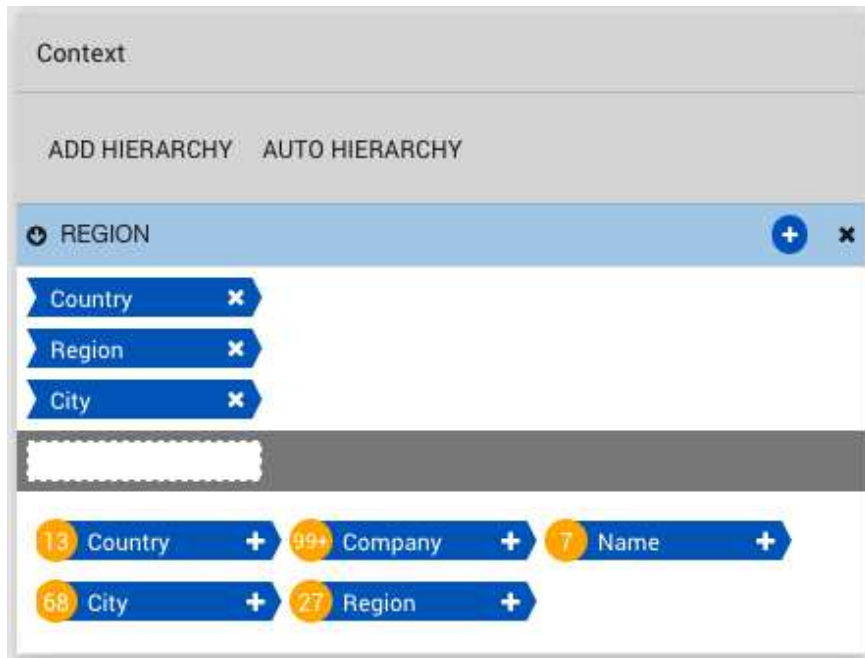
ID	NAME	DEPT	JOB	YEARS	SALARY	COMM
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5
100	ABRAHAMS	30	CLERK	3	12,009.75	236.5

- 照会の先頭 1000 行および 1000 列のみを実行するには、「先頭 1000」をクリックします。

階層の作成

QMF Vision では、複数のコンテキストを階層に結合することができます。階層を使用すると、データのドリルダウンが容易になります。手動で階層を作成することができますが、データの理想的な階層を QMF Vision に生成させることもできます。自動階層は、照会を作成する「データ」ページで、また「検出」ページでも生成できます。

対応するリストにあるコンテキストと測定に関連する値を表示して選択できます。以下の例は、階層「REGION」と、子の値として「Country」、「Region」、および「City」を示しています。



数字は、それぞれの列にある値の数を示しています。例えば、Country コンテキストには 13 個の値があります。

第 8 章 ダッシュボードの作成

「ホーム」ページまたは「データ」ページのどちらかで、ダッシュボードを作成できます。データを変更したくない場合、「ホーム」ページが役立ちます。これに対して、データを操作するためには、「データ」画面を開いてからダッシュボードを作成してください。

このタスクについて

ダッシュボードを「ホーム」ページで作成

「ホーム」ページは、QMF Vision にログインした後で最初に表示されるページです。このページでダッシュボードを作成できます。

手順

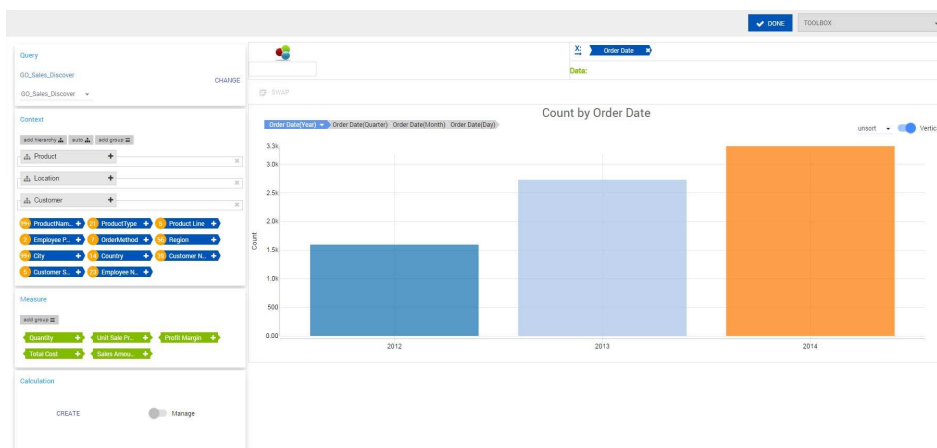
1. 「+ダッシュボード (+DASHBOARD)」コントロールをクリックします。
2. 中央にある「データ」アイコンをクリックして、ダッシュボード用の照会または表を選択します。ダッシュボードが縦棒形式で「検出」ページに表示されます。
3. 「完了」をクリックしてください。

ダッシュボードをデータ・ページで作成

ダッシュボードを「データ」ページで作成する前に、照会およびソースを表示できます。

手順

1. 「データ」ページにナビゲートして、照会またはソースをクリックします。
2. 「+ダッシュボード (+DASHBOARD)」をクリックします。コンテキストおよび測定値の追加や、バーの順序のソートなどを行うことによって、ビジュアルを形式設定することができます。



3. 「完了」をクリックしてください。ダッシュボードが「検出」ページに表示されます。



第 9 章 プレゼンテーションの作成

論理関連ダッシュボードを表示するために、プレゼンテーションを作成します。この機能によって、ダッシュボードをプレゼンテーションに変換することができます。

このタスクについて

プレゼンテーションを QMF Vision の「ホーム」ページで作成するには、以下のようになります。

手順

1. QMF Vision にログインして、「+プレゼンテーション (+PRESENTATION)」ボタンをクリックします。
2. 「ホーム」ページで、 アイコンをクリックして、新規ダッシュボードをプレゼンテーションに追加します。
3.  アイコンをクリックして、プレゼンテーションを表示します。

タスクの結果

ダッシュボードがプレゼンテーション・モードであるとき、それらのダッシュボードは編集できません。ただし、1 つのダッシュボードを編集して、それをプレゼンテーション・モードで表示することはできます。新規プレゼンテーションを作成する必要はありません。




第 10 章 データ・パックの作成

データ・パックとは、照会とダッシュボードを作成するために使用できるソース表のことです。QMF Vision を使用して、リレーショナル・データベース (RDB) ソースからの表をリンクすることで、データ・パックを作成できます。

始める前に

QMF Data Service に接続していることを確認します。ソースへの接続について詳しくは、17 ページの『第 7 章 データへの接続』を参照してください。

手順

1. 「データ」ページにナビゲートし、「**QMF Data Service**」をクリックします。データ・ソース内の表のリストが表示されます。
2. 表の横にリストされている「データ・パックの作成」をクリックします。表は ER ダイアグラムとして表示されます。
3. データ・パックに関連する名前を指定します。
4. 「データ」ページで、選択した表とリンクする表の横にある  をクリックします。
5. 「ツールボックス」で、 をクリックしてリンク基準を表示します。
6. 「ツールボックス」で、リストから主キーを選択します。主キーの横には  アイコンが表示されます。
7. 選択した表のすべてのレコードを含めるには、「すべてを含む」をクリックします。このオプションを選択しない場合は、リンク基準を満たす値のみがデータ・パックに組み込まれます。
8. 「ツールボックス」で、リストからもう一方の表を選択します。
9. もう一方の表の外部キーを選択します。
10. ステップ 7 を繰り返します。
11. 「完了」をクリックして、データ・パックを作成します。

次のタスク

「データ」ページでデータ・パックを編集および削除することができます。データ・パックから照会とダッシュボードを作成するには、21 ページの『第 8 章 ダッシュボードの作成』を参照してください。

第 11 章 ビジュアルについて

データは、各ユーザーに適切な形式で表示することが重要です。QMF Vision には、さまざまなビジネス要件に合わせて多数のビジュアルが用意されています。ビジュアルをドリルダウンして、データを詳細に分析することができます。例えば、データを年間から四半期、月間などへドリルダウンできます。

下のリストに、QMF Vision で提供されるビジュアルのタイプをまとめます。

ビジュアル	説明
表	カテゴリ別にグループ化されているデータの要約を示します。これは 2 つの変数の関係を表しています。データは、変数の頻度分布を示す行列の形式で表現されます。
KPI	データの重要業績評価指標を示します。このビジュアルにヒストグラムを追加して、KPI の値とともにデータの傾向を見ることができます。
折れ線グラフ	直線のセグメントで結ばれた点として情報を表示します。一定の時間間隔でのデータの変動を表します。例えば、財務管理者はこのグラフを使用して、10 年間に従業員に支払われた賃金の傾向を見ることができます。
柱グラフ	データを縦棒の形式で表示します。グラフの軸には、さまざまな測定値およびコンテキストが含まれます。
パレート	このグラフには、棒グラフと折れ線グラフの両方が含まれています。棒グラフの上にある折れ線は累計を示します。
ドット・プロット	丸を使用して目盛り上にプロットされるデータ・ポイントを表示します。このグラフは連続データに使用されます。通常、サイズが中程度のデータ・セットに使用されます。
積み上げ棒グラフ	縦棒または横棒を使用して、各種カテゴリ間の比較を表示します。グラフの一方の軸上に値が、もう一方の軸上にカテゴリがプロットされます。このグラフは水平に積み重ねることができます。販売管理者は、この棒グラフを使用して 5 年間の販売を見ることができます。
滝グラフ	初期値に対する一連の正および負の値の影響を表示します。このグラフは飛行レンガ・グラフとも呼ばれます。

ビジュアル	説明
積み重ね面グラフ	グラフ上に数量データを表示します。2つ以上の数量を比較するために使用され、軸と線の間の領域はさまざまな色で強調されます。
散布図	データ・セットの2つの変数の値を表示します。データは点の集まりまたはクラスター(塊)で表されます。これらの点は、不均等な間隔で表示されます。例えば、販売管理者はこのグラフを使用して、さまざまなターゲット層での販売パーセンテージ間の相関を見ることができます。散布図の傾向線は、時間の経過に伴う製品の販売傾向を示します。
箱ひげ図	範囲全体の一連の値を昇順に表示します。値は、ボックスの中央に配置されたメディアンを持つパーセントイルで表されます。
ブレット・グラフ	比較業績を表現するために使用します。単一の基本測定値を使用する横棒グラフであり、業績の質的範囲を示すために、その測定値を1つ以上の他の測定値と比較して表示します。例えば、実際の業績と業績目標を表示することができます。
ジオ・マップ	国、地域、市区町村などの数量データを、色彩強度を変えることによって示します。ユーザーは、さまざまなジオグラフィーに基づいてデータの分析を見ることができます。このマップは、ドリルダウンして詳細な分析を表示できます。
ジオ・バブル	ジオ・マップとバブル・チャートを組み合わせたものです。データを表示するために、バブルのサイズと色彩強度を、地域の色の塗りつぶしと組み合わせて使用します。
ワード・クラウド	テキスト・データを視覚化するために使用します。語句の文字サイズは、その語句の頻度を表します。意味のあるワード・クラウドを生成するには、入力するテキストに充てん文字が含まれないようにする必要があります。これを使用して、報告書で最も際立った特徴を伝えることができます。また、この報告書では、ユーザーがテキストを簡単に見分けることができます。視覚効果が強く、わかりやすいグラフです。
ツリー・マップ	ネストされた長方形の形式でデータを表します。小さなスペースに大きなデータを表示する場合に役立ちます。
ヒート・マップ	表形式のマトリックスとして配置されたセルで構成されます。各セルは、色のグラデーションを変えることによって定量値を表示します。

ビジュアル	説明
円グラフ	円形のグラフで、複数のセクターに分割されています。グラフの円弧の長さは数量を表します。セグメントを的確に把握するために、グラフを突出させることができます。
サンバースト	この複数レベルの円グラフは、同心円によって階層を表す場合に最適です。最外周の円は、階層の最上位にあるデータを表します。
バブル	データを 3 次元で視覚化するために使用します。このグラフは、データに 3 つのデータ・セット (一般的には 2 つ) がある場合に使用されます。
テキストおよびイメージ	ダッシュボード上の重要な要素の説明や、ユーザーによる分析の理解を助けるための情報を追加できます。
Web ページ	ダッシュボードに HTML コードを組み込むことができます。
ダッシュボード・フィルター	フィルター基準をダッシュボードに適用するために使用します。

関連タスク:

21 ページの『ダッシュボードを「ホーム」ページで作成』

「ホーム」ページは、QMF Vision にログインした後で最初に表示されるページです。このページでダッシュボードを作成できます。



21 ページの『ダッシュボードをデータ・ページで作成』

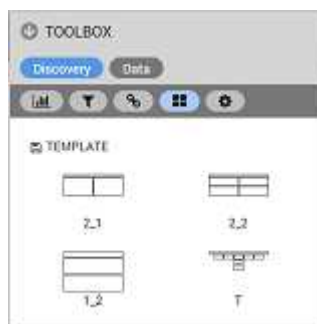
ダッシュボードを「データ」ページで作成する前に、照会およびソースを表示できます。


第 12 章 データ検出の概要

「検出」ページには、ビジュアルを使用してさまざまな作業を実行できる多目的のビューが用意されています。

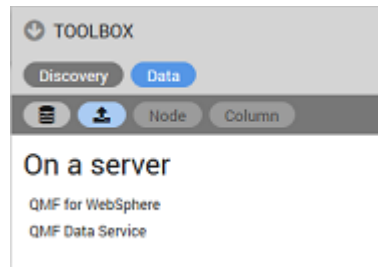
ダッシュボードでは、以下の作業を実行できます。

- 新しいビジュアルを作成します。
- ビジュアルを削除します。これを行うには、「検出」ページの  アイコンをクリックします。
- 「移動」オプションを使用してビジュアルの配置をサイズ変更します。
- ビジュアルを同期化します。
- プレゼンテーションを作成します。
- ダッシュボードを PDF として印刷します。これを行うには、「検出」ページの  アイコンをクリックします。レイアウトおよび用紙サイズを選択することができます。
- ダッシュボードを変更します。
- ビジュアルを「図表タイプ」パネルからダッシュボードにドラッグして追加します。
- テンプレートを選択します。グリッドの数は、ダッシュボード上のビジュアル数を示します。



ダッシュボードを開き、 **TEMPLATE** アイコンをクリックすると、カスタム・テンプレートを作成することができます。新規テンプレートは現在のダッシュボードと同じ形式になります。



- データ・ソースを選択して、データ・ソースに接続します。



ダッシュボードの編集

ダッシュボードには、1 つ以上のビジュアルが含まれます。QMF Vision には、ダッシュボードの編集方法が複数用意されています。サイズの変更、カラー・スキームの変更、新しいビジュアルの追加などが可能です。

ビジュアルを変更するために、以下の作業を実行できます。

-  アイコンをクリックして、ビジュアルを拡張します。
-  アイコンをクリックして、ビジュアルを編集します。
- 値および数学関数を選択して公式を追加します。



- 「設定」オプションを使用してビジュアルのプロパティを変更します。





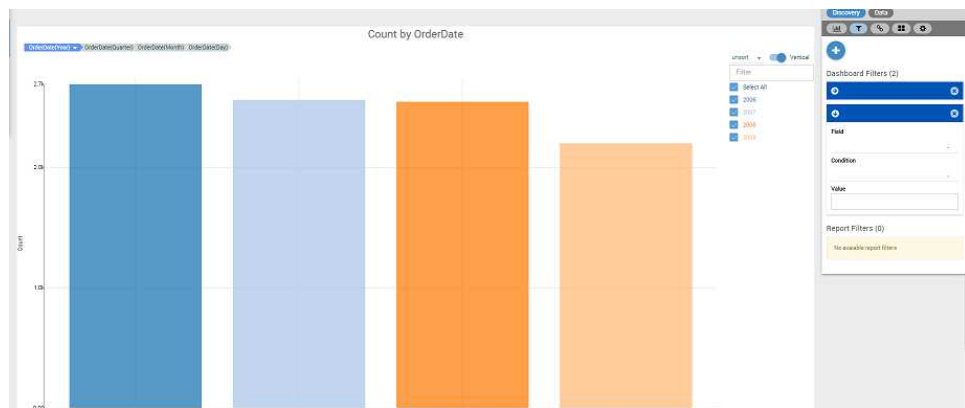
Header style

Show header

Title

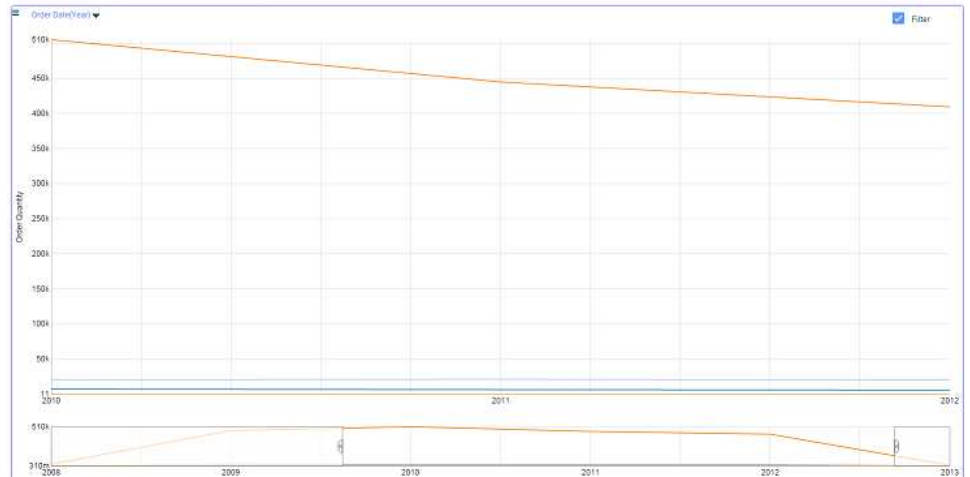
Color

- 「見出しの表示」を選択して、ビジュアルに見出しを追加します。
-  アイコンをクリックして、ビジュアルのコピーを作成します。
-  アイコンをクリックすることにより、ビジュアルを最新表示して変更を反映します。
- リストからフィルター基準を選択して、ビジュアルにフィルターを適用します。



フィルター・オプションを使用してドリルダウンし、日付範囲によってデータを表示します。フィルターが適用された後、メイン図表の下に既存の図表のコピーを表示することができます。図表のコピー上でマウスをスライドさせて、特定の範囲に関連するデータを表示できます。

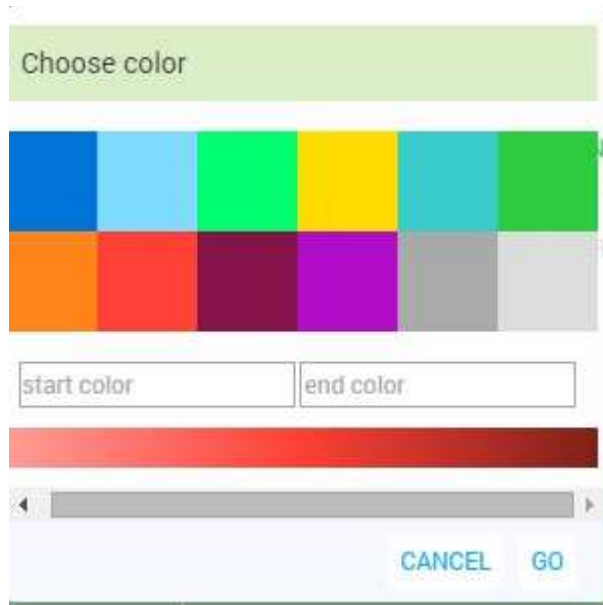
以下の図は、フィルター適用後の図表を示しています。



- 図表に集約を適用して、平均、カウント、合計などを表示します。例えば、ある州の男性の最小数を表示するとします。「New South Wales」測定で「最小」オプションを選択します。この図表は、選択した州の男性の最小数を表示するように最新表示されます。



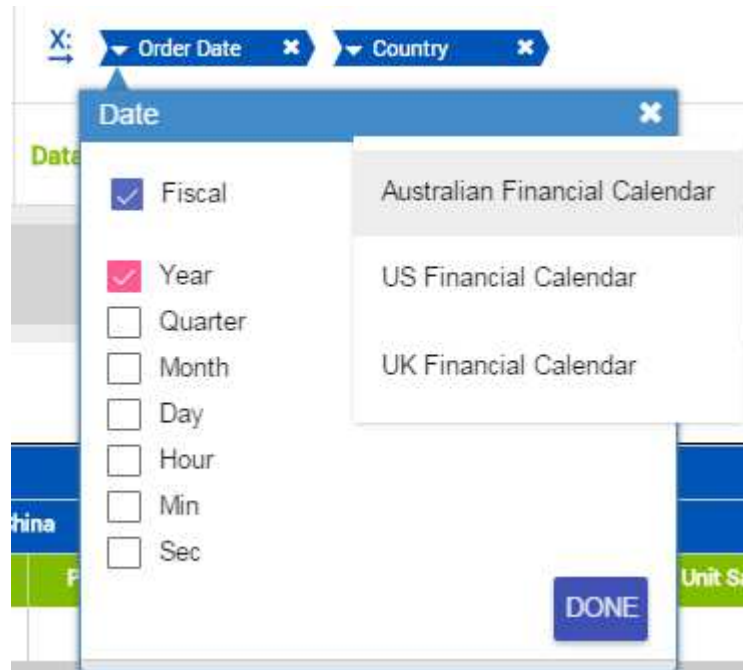
- データの輝度によって値を識別するために測定の色を設定します。開始色は低い値を表し、終了色は高い値を表します。




例えば、Sales の最小数と最大数を表す色を選択できます。



- 日付タイプのコンテキストに時間固有のフィルターを適用することによって、ビジュアルをドリルダウンします。次の図表は、「Order Date」コンテキストに対して選択されたフィルターを表示しています。ご使用のシステムで構成されている会計カレンダーを選択することができます。この図表は、秒の単位までドリルダウンできます。



- すべての変更を加えた後、 アイコンをクリックしてビジュアルを最新表示します。

ビジュアルのヘッダーを作成

意味のある名前をビジュアルに付けることができます。これは、さまざまなビジュアルを「ホーム」ページ上で区別するために役立ちます。

始める前に

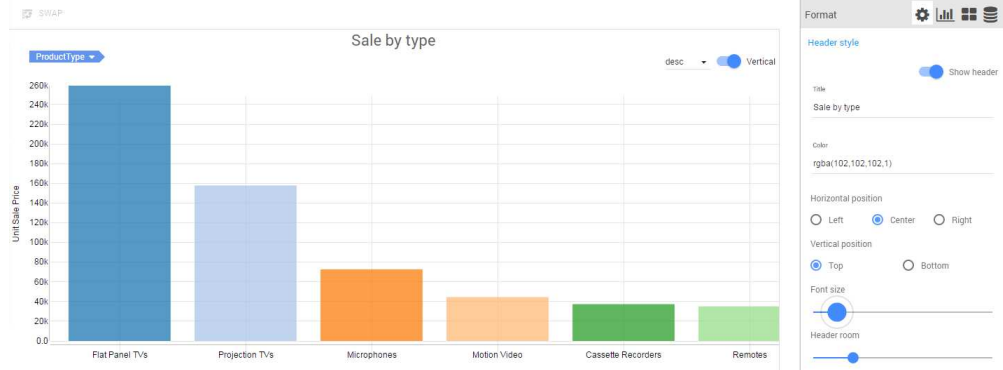
ヘッダーを追加および変更するためには、ビジュアルを編集する必要があります。

手順

1. 「検出」ページの「ツールボックス」で、「ヘッダー・スタイル」をクリックします。
2. 「ヘッダーの表示」をクリックします。
3. ヘッダーの名前を入力します。
4. 説明ボックスをクリックして、カラー・ピッカーで色を選択します。また、ヘッダー色を 16 進数で入力することもできます。
5. ヘッダーの水平位置を選択します。
6. ヘッダーの垂直位置を選択します。
7. 「フォント・サイズ」スライダーをドラッグして、ヘッダー・フォントのサイズを調整します。
8. 「ヘッダー空間」スライダーをドラッグして、ヘッダーの名前の下のスペースを調整します。

タスクの結果

次の例は、タイプに基づく商品の単価が入ったダッシュボードです。




データ変換

ダッシュボードで分析および表示される行の数を制限することができます。この機能は、大きなデータ・セットの処理にかかる時間を削減するために役立ちます。

このタスクについて

行数を制限するには、以下のようにします。

手順

1. ダッシュボードを編集モードで開きます。
2. ツールボックスを展開して、 をクリックします。
3. 「データ変換」を展開して、データ制限をリストから選択します。

ビジュアルの形式設定

ビジュアルの設計を変更することができます。

始める前に

ビジュアルを変更するためにダッシュボードを編集する必要があります。

手順

1. 「検出」ページの「ツールボックス」で、「図表アクション」をクリックします。

オプション	説明
データ・ソート	リストから、データをソートする順序を選択します。
データ方向	X 軸の値と Y 軸の値を交換するには、このオプションを選択します。

2. 「検出」ページの「ツールボックス」で、「図表スタイル」をクリックします。
3. ご使用のビジュアルに基づいて、以下のオプションを表示および選択できます。

オプション	説明
X 軸	X 軸にラベルを表示します。
Y 軸	Y 軸にラベルを表示します。
短い数字のフォーマット	値を短縮フォーマットで表示します。例えば、数字 1,000 を 1k として表示できます。
凡例	選択されたコンテキストから値を表示します。最終のビジュアルに表示する凡例を選択できます。
グループ	最高値の 80% を示す値を結合します。残りの領域は、「その他」としてグループ化されます。
幅	スライダーを移動して、棒グラフの幅を変更します。
高さ	スライダーを移動して、棒グラフの高さを変更します。
テキスト回転	スライダーを移動して、X 軸上のテキストを回転させます。
リンクの入力	KPI を表示するリンクを入力します。
数字フォーマット	数値の形式を表示します。
対話式	データ・ポイントの上にマウス・カーソルを移動したときに値を表示します。このオプションが選択されていない場合、値は直線の上のみ表示することができます。
傾向	図表上のデータの傾向を表示します。
拡大	マウス・カーソルを移動したときに、X 軸データのズームイン・ビューを表示します。ビジュアルで「拡大」オプションを選択していることを確認してください。
ラベル・スタイル	円グラフの各種スライスを表示します。
フォーマット (パーセント)	データをパーセントで表示します。
円内部半径	スライダーを移動して、円グラフの半径を調整します。
値の表示	X 座標の値を表示します。
棒の色	パレート図の棒を表示する色を選択します。
線の色	パレート図の線 (累計) を表示する色を選択します。
順序	データの順序を選択します。
左	スライダーを移動して、ヒート・マップの幅を変更します。
上	スライダーを移動して、ヒート・マップの高さを減らします。
グリッド・サイズ	リストからグリッドのサイズを選択します。
カスタマー	リストからカスタム・マップを選択します。

オプション	説明
マップ・タイプ	マップのタイプを選択します。例えば、地形を表示するマップを表示するように選択できます。
パンくずリスト	図表にディメンションのドリルダウン・パスを表示する場合に選択します。

「ホーム」 ページでのダッシュボードの表示

「ホーム」 ページにすべてのダッシュボードを表示することができます。ダッシュボードを共有し、それらをお気に入りとしてマークすることもできます。

QMF Vision では、複数のダッシュボードで作業している場合にダッシュボードを分類することができます。表示対象として、すべてのダッシュボード、共有しているダッシュボード、および最近作業で使用したダッシュボードを選択できます。ダッシュボードは、リスト・ビューおよび列ビューで表示できます。列ビューはダッシュボードをひと目で把握できるようにする一方、リスト・ビューはダッシュボードの名前に着目する場合に便利です。

ダッシュボードのタグ付け

QMF Vision には、ダッシュボードのタグ付け機能が用意されています。タグは、ダッシュボードを編成し、論理関連ダッシュボードをグループ化するために役立ちます。すべてのダッシュボードに共通のタグを検索することによって、ダッシュボードのリストをフィルター操作できます。

始める前に

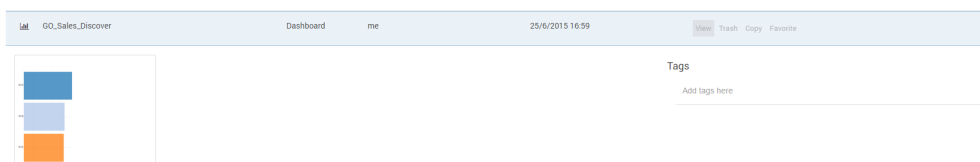
タグを追加するためには、ダッシュボードの編集許可が必要です。

このタスクについて

タグをダッシュボードに追加するには、以下のようになります。

手順

1. 「ホーム」 ページにナビゲートして  をクリックし、ダッシュボードのリストを表示します。
2. タグを追加するダッシュボードをクリックして、そのタグの値を入力します。



例えば、「GO_Sales_Discover」ダッシュボードには販売データが表示されています。そのため、「sales」が関連タグです。

フィルター・コンテナの適用

フィルター・コンテナは、ダッシュボードに適用するすべてのフィルター基準で構成されます。QMF Vision では、ユーザーはこのコンテナを追加してから、フィルターをコンテナに追加できます。



始める前に

フィルターを作成してあることを確認してください。

このタスクについて

フィルター・コンテナをダッシュボードに追加するには、以下のようになります。


手順

1. フィルターを追加する先のダッシュボードをクリックします。
2. ツールボックスを展開して、 アイコンをクリックします。
3. フィルター・コンテナで  アイコンをクリックします。
4. ダッシュボードに適用するフィルターを選択してください。

ビジュアルの関連付け

共通データ・ソースから作成されたビジュアルを持つ、さまざまな機能を実行することができます。この機能は、それぞれのビジュアルが異なる照会を持っていて、データを異なるパースペクティブで表示したい場合に役立ちます。

このタスクについて

ビジュアルを関連付けるには、「ツールボックス」にある  をクリックしてから、ソースと、関連付けるフィールドをリストから選択してください。関連付けられたデータは「ホーム」ページに表示されます。


ダッシュボード設定

「検出」ページで、ダッシュボードに対して追加機能を実行できます。

このタスクについて

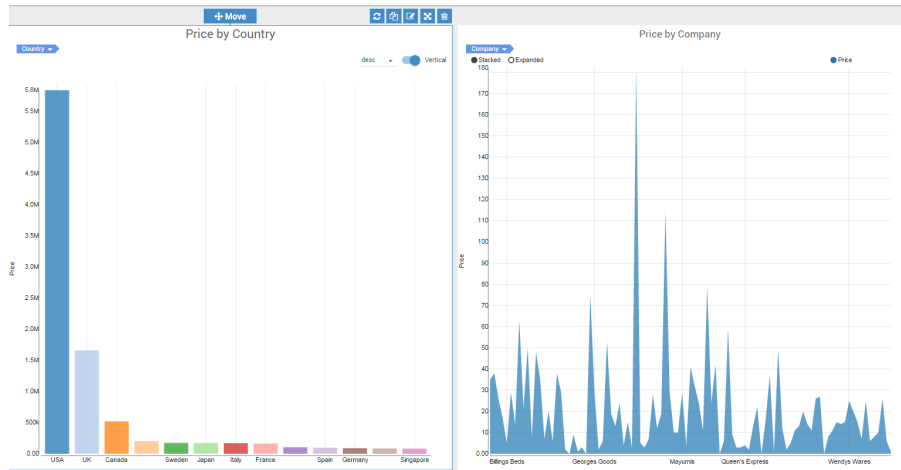
設定オプションを表示するには、以下のようになります。

手順

「ツールボックス」内の  をクリックし、以下のオプションを選択します。

- 強調表示の連携 (Coordinate Highlighting): あるビジュアルで特定の測定値を選択し、それを残りのビジュアルでは異なるコンテキストで表示することができます。例えば、下に示すイメージは、共通のデータ・ソースを持つ 2 つのビジュアルを表示しています。柱グラフには国別の価格が表示され、堆積図表には会社別の品目価格が表示されています。国別の縦棒はドリルダウンすることができ、

それと同時に堆積図表は柱グラフで選択された会社の価格を示すように変化します。



- ダッシュボードを開いたときに照会を最新表示 (Refresh query when open dashboard): この機能を使用すると、照会に関連付けられたダッシュボードを「ホーム」ページから開くたびに、その照会を最新表示できます。このオプションによって、ダッシュボードには必ず最新のデータが表示されるようになります。

第 13 章 共有とコラボレーション

QMF Vision には共有およびチャット機能が用意されています。他のユーザーと会話、ダッシュボード、ソース、および照会を共有することができます。

共有

「共有」ページを使用して、ファイル、ソース、ダッシュボード、および照会のタイプを検索します。



Name	Type	Owner	Modified	
GO_Sales_Discover	Dashboard	me	16/10/2015 14:33	View Delete Copy
New	Dashboard	me	16/10/2015 11:55	View Delete Copy
Go_Discover_revenue	Dashboard	me	16/10/2015 11:55	View Delete Copy

「共有」ページでは、ユーザーまたはユーザーのグループに対する許可の割り当て、表示、または変更も行います。



GO_Sales_Discover1 Query: me 25/6/2015 12:59 [View](#) [Trash](#) [Copy](#)

Who has access


John

Add User/Group here

コラボレーション

QMF Vision によって、ユーザーはリアルタイムで連携とコラボレーションを行うことができます。他のユーザーとのチャット、それらのユーザーの可用性の表示、およびチャット・グループの作成が可能です。会話をフィルターに掛けることにより、特定のメッセージを検索することもできます。

以下の方法で、チャット機能を使用して他のユーザーとダッシュボードを共有できます。

- 「ホーム」ページ: ダッシュボードをチャット・ウィンドウにドラッグします。
- 「検出」ページ: チャット・ウィンドウの共有  アイコンをクリックします。作業中のダッシュボードが、相手ユーザーと共有されます。この機能は、ダッシュボード作業のドラフトを仕上げる前に共有したい場合に役立ちます。

注: 相手ユーザーは、共有ダッシュボードの表示のみが可能です。

関連タスク:

7 ページの『グループ許可の設定』
ユーザーはグループを作成し、グループを表示する許可、またはグループに対してユーザーを追加および削除する許可を他のユーザーに割り当てることができます。

付録. QMF Vision クイック・リファレンス

このセクションでは、重要なデータ準備機能を紹介します。これらの機能はあらゆるデータ・ソースで使用できます。

カテゴリーをデータに追加

QMF Vision では、カスタム基準に従ってデータをカテゴリー化できます。ダッシュボードを「データ」ページで作成するときに、カテゴリーを作成してデータをグループ化することができます。

始める前に

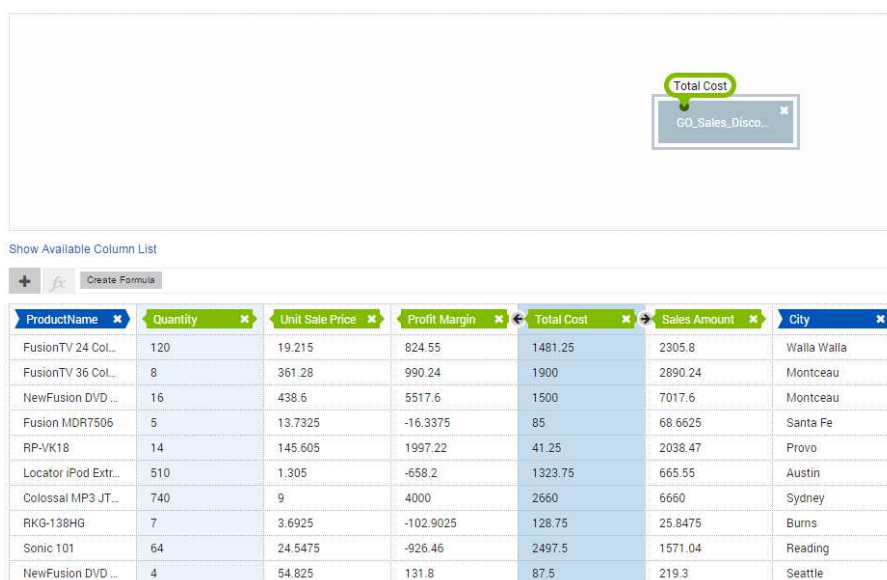
照会を開いて、データ・ソースが「データ」ページに表示されていることを確認してください。

このタスクについて

この例では、Go_Sales_Discover ファイルにあるデータをグループ化するために、「Profit」カテゴリーと「Loss」カテゴリーを作成します。

手順

1. 「データ」ページで、カテゴリーを作成する対象の測定値を選択します。この例では、「Total Cost」が選択されています。



The screenshot shows a dialog box for selecting a column to categorize. The 'Total Cost' column is highlighted in green. Below the dialog is a table titled 'Show Available Column List' with the following data:

ProductName	Quantity	Unit Sale Price	Profit Margin	Total Cost	Sales Amount	City
FusionTV 24 Col...	120	19.215	824.55	1481.25	2305.8	Walla Walla
FusionTV 36 Col...	8	361.28	990.24	1900	2890.24	Montceau
NewFusion DVD ...	16	438.6	5517.6	1500	7017.6	Montceau
Fusion MDR7506	5	13.7325	-16.3375	85	68.6625	Santa Fe
RP-VK18	14	145.605	1997.22	41.25	2038.47	Provo
Locator iPod Extr...	510	1.305	-658.2	1323.75	665.55	Austin
Colossal MP3 JT...	740	9	4000	2660	6660	Sydney
RKG-138HG	7	3.6925	-102.9025	128.75	25.8475	Burns
Sonic 101	64	24.5475	-926.46	2497.5	1571.04	Reading
NewFusion DVD ...	4	54.825	131.8	87.5	219.3	Seattle

2. ツールボックスで、「カテゴリー化」をクリックします。または、照会領域の下の「カテゴリー化」をクリックすることもできます。
3. カテゴリーの名前 (例えば Profit) を入力します。
4. 2 番目のカテゴリーの名前 (例えば Loss) を入力します。

- 機能を選択して、計算する測定値 (例えば、100 未満の合計コスト) を入力します。

新しいカテゴリー「Profit and Loss」が追加されました。100 未満の値が「Loss」としてカテゴリー化されています。

Product Name	Quantity	Profit Margin	Total Cost	City	Country	Profit and Loss
FusionTV 24 Col...	120	824.55	1481.25	Walla Walla	USA	Profit
FusionTV 26 Col...	8	990.24	1900	Montceau	France	Profit
NewFusion DVD ...	16	5517.6	1500	Montceau	France	Profit
Fusion MDR7506	5	-16.3375	85	Santa Fe	USA	Loss
RP-VK18	14	1997.22	41.25	Provo	USA	Loss
Locator iPod Extr...	510	-558.2	1323.75	Austin	USA	Profit
Colossal MP3 JT...	740	4000	2660	Sydney	Australia	Profit
RKG-138HG	7	-102.9025	128.75	Burns	USA	Loss
Sonic 101	64	-926.46	2497.5	Reading	UK	Profit
NewFusion DVD ...	4	131.8	87.5	Seattle	USA	Loss

表の概要

QMF Vision の表には報告書機能が追加されています。この機能はクロス集計ビジュアルとも呼ばれます。クロス集計を使用すると、データ・シートに表示される複雑なデータを合計でき、データをさまざまな方法で編成できます。

表では、以下の機能を実行することができます。

- 
 アイコンをクリックして、行と列を入れ替えます。

CROSS-TAB

- アイコンをクリックして、単純集計ビューとクロス集計ビューを切り替えます。
- アイコンをクリックして、列を表示するか、非表示にします。このアイコンは、列見出しの上にマウス・カーソルを移動すると表示されます。

「ツールボックス」で使用可能な以下のオプションを選択することにより、クロス集計のデータを形式設定することができます。

- 「パンくずリスト」を選択して、列のデータをドリルダウンする際にナビゲーション・パスのパンくずリストを表示します。
- 「小計」を選択して、すべての行の小計を表示します。
- 「総合計」を選択して、すべての列の総合計を表示します。
- 「行番号」を選択して、すべての行の通し番号を表示します。
- 「ストライピングされた行」を選択して、代替行にグレーのストライプを表示します。
- クロス集計の Y 軸に複数の測定値がある場合は、列を選択して「ドリル」オプションをクリックすることにより、その列をドリルダウンできます。
- 列を選択して、フォーマット・オプションを適用します。テキストの配置、フォント・サイズ、およびフォントの色を変更できます。
- 測定値をクリックすると、コンテキストに対して実行できるさまざまなタスクが表示されます。
 - 「ピック・リスト」オプションを使用して、選択したコンテキストをクロス集計に表示できます。
 - 「ソート」オプションを使用して、コンテキストに条件を適用し、その結果の値をクロス集計に表示できます。
 - 「例外」オプションを使用して、異常値を定義することができます。コンテキストの例外条件を定義することもできます。

計算関数について

QMF Vision には、測定値とディメンションに対して計算を実行するために適用可能な関数が用意されています。

このタスクについて

「データ」ページで「公式の作成」をクリックして、公式バーを表示します。関数の名前を入力すると、関数の形式が自動的に設定されます。

下に示すリストに、関数についての説明があります。

関数	説明
ABS(NUMBER)	数値の絶対値を返します。

関数	説明
ACOS(NUMBER)	数値の逆コサインを計算し、0 から π のラジアンで角度を返します。例えば、ACOS(1/SQRT(2)) は π を返します。
CHAR(NUMBER)	数値に対応する文字を返します。例えば、CHAR(65) は A を返します。値は ANSI 文字に基づいて計算されます。
ASIN(NUMBER)	数値の逆サインを計算し、 $-\pi/2$ から $\pi/2$ の間の角度を返します。
ATAN(NUMBER)	数値の逆タンジェントを計算し、 $-\pi/2$ から $\pi/2$ のラジアンで角度を返します。例えば、ATAN(1) は $\pi/4$ を返します。
CEILING(NUMBER)	正数を切り上げ、負数を切り捨てます。例えば、CEILING(-9.7) は -9 を返します。
COS(RADIAN)	指定された角度のコサインを返します。例えば、COS(.785398163) は 707106781 を返します。
MONTHDAYS(MONTHS, YEARS)	指定された年の当該月の日数を返します。例えば、MONTHDAYS(12,2014) は 31 を返します。
OR(BOOLEAN,BOOLEAN)	引数を検証し、いずれかの条件が該当する場合は TRUE を返します。それ以外の場合は FALSE を返します。例えば、式 (Price = 345.6 OR (Price >100, Price < 300)) は TRUE を返します。
AND(BOOLEAN,BOOLEAN)	引数を検証し、すべての条件に該当する場合は TRUE を返します。それ以外の場合は FALSE を返します。例えば、式 (Price = 345.6 AND(Price >100, Price <300)) は TRUE を返します。
NOT(BOOLEAN)	ユーザーが指定した値とは反対の値を返します。
FIND(TEXT,TEXT,INTEGER)	テキスト・ストリング内の文字の位置を返します。この関数は大/小文字を区別します。FIND(n,Canada,1) は 3 を返します。整数の値は、指定しない場合は 1 とみなされます。
FLOOR(NUMBER)	正数を切り捨て、負数を切り上げます。例えば、FLOOR(-9.89) は値 -10 を返します。
TEXT(DATE_TIME,DATE_FORMAT)	値の形式をテキストに変換します。例えば、TEXT(1-Jan-06,'DDMMYYYY') は 01012016 になります。
IF(BOOLEAN,VAR,VAR)	条件が満たされているかどうかを検査し、条件が TRUE であれば値を返し、条件が FALSE であればもう一方の値を返します。例えば、IF(Gross Profit >100, 'bigger','smaller') のように使用します。

関数	説明
ISNULL(VAR)	列に値があるかどうかを検査します。列に値がある場合は「1」を返し、値がない場合は「0」を返します。
LN(NUMBER)	自然対数を返します。例えば、LN(10) は 2.30 を返します。
LOG(NUMBER)	数値の対数を返します。
NOW()	現在の日時を返します。
ROUND(NUMBER,INTEGER)	数値を指定された桁数で四捨五入します。例えば、Round(123.456,2) は 123.46 を返します。
SIN(RADIAN)	指定された角度 (ラジアン) のサインを返します。例えば、SIN(RADIANS(-30)) のように使用します。
SQRT(UNSIGNED)	数値の平方根を返します。
LEFT(TEXT,INTEGER)	テキスト・ストリングの先頭から、指定された数の文字を返します。例えば、LEFT(Chicago,3) は「Chi」を返します。
LEN(TEXT)	テキスト・ストリング内の文字数を返します。例えば、LEN(Chicago) は 7 を返します。
RIGHT(TEXT,INTEGER)	テキスト・ストリングの末尾から、指定された数の文字を返します。例えば、RIGHT(Chicago, 3) は「ago」を返します。
MID(TEXT,INTEGER,INTEGER)	ストリングの途中にある文字を返します。例えば、国が「USA」である場合、MID(USA,2,2) 関数は「SA」を返します。
TAN(RADIAN)	角度のタンジェントを返します。
LOWER(TEXT)	テキストを小文字に変換します。
UPPER(TEXT)	テキストを大文字に変換します。
TRUNC(NUMBER,INTEGER)	小数部の除去により、数値を切り捨てて整数にします。例えば、Trunc(2.345,2) は数値を切り捨てて 2.34 にします。
DATE(YEAR,MONTH,DAY)	日付を返します。例えば、DATE(2013,4,29) は 2013-04-29 を返します。

マップの操作

QMF Vision では、ジオ・マップとバブル・マップを使用するダッシュボードを作成し、適切な方法でデータが表示されるようにダッシュボードをカスタマイズできます。

このタスクについて

マップを使用するダッシュボードを作成するには、以下のようになります。

手順

1. 「検出」 ページでソースを開きます。
2. 「ツールボックス」 を展開して目的のマップを選択します。
3. マップの見出し設定を適用します。詳しくは、 36 ページの『ビジュアルのヘッダーを作成』を参照してください。
4. 「図表スタイル」 パネルで、リストからマップ・タイプを選択します。図表スタイルについて詳しくは、 37 ページの『ビジュアルの形式設定』を参照してください。
5. 「グループ・データ制限」 リストで、マップに表示するデータを選択します。

タスクの結果

マップ上のデータ・ポイントをダブルクリックすると、ダッシュボードのデータをドリルダウンできます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119
Armonk, NY 10504-1785
US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年).

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. _年を入れる_.

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲: IBM Web サイトのご利用条件に加えて、以下のご使用条件があります。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利: ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場

合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクセス 5
アプリケーション
 QMF Vision のインストール 3
インストール 3, 4

[カ行]

会社 8
階層 19
概要 1
カテゴリ 45
共有 43
許可
 設定 7
グループ 7
計算関数 47
検出
 編集 31
コラボレーション 43

[サ行]

照会 19
商標 52
新規ユーザー
 登録 11
図表スタイル 37
設定の概説 11
操作
 データ 18

[タ行]

タグ付け 39
ダッシュボード 21
 作成 21
 編集 32
 「ホーム」ページ 21
ダッシュボード設定 40
データ変換 37
データ・ソース
 接続 17
データ・バック 25

データ・ページ 21
テーマ 8
特記事項
 法定 51

[ハ行]

パスワード
 更新 7
ビジュアル
 グラフ 27
ビジュアルの関連付け 40
表 46
表示
 ダッシュボード 39
表示設定 8
フィルター・コンテナ 40
ヘッダー 36
「ホーム」ページ 13

[マ行]

マップ 49

[ヤ行]

ユーザー
 追加 7
用語 15

[ラ行]

ライセンス
 適用 12
リファレンス 45
リンク
 IBM 以外の Web サイト 53

E

ERD 25

L

LDAP 11



プログラム番号: 5650-DB2
5615-DB2
5697-QM2

Printed in Japan

GC43-3484-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21